

## 編集後記

本号は通信用計測器の特集号となった。まえがきにもあるように、これからの通信のキーワードはマルチメディア通信。インターネットの利用者急増と高度化で、現実の要求となってきた。IPによる標準化が、世界中どこからでも、誰でも、いつでも同じように使えるというグローバル標準の可能性を示した。残された不自由は端末の接続口。その不自由を取り払うと期待されているのが、IMT-2000、21世紀始めからのサービス開始を目指した次世代移動通信システムである。これの世界統一標準化のために、日本は多大の努力、貢献をしてきた。その結果、日・欧の合意には達したが、米国は基本的に市場に任せるとの方針であり、米国一国から4つの方式案がITU-Rに提案されている。今後も統一化への努力は続けられるが、自由な競争の結果、生き残ったものが標準となるという米国流の考え方は容易には変わらないであろう。今後の展開

が気になるところである。

本号では、このIMT-2000初の本格的な実証実験であるNTT DoCoMo実験仕様に基づいた測定器の記事3本のほか、多様な分野の通信用計測器が紹介されている。

ところで、お気づきと思うが本号には英語論文が掲載されている。この原稿が寄せられたとき、日本語に直してから掲載すべきではないかと編集会議で議論になった。読者のレベル、科学技術の世界では英語は事実上の標準言語であるなどを考えてそのままとすることにしたが、読者の皆様のご意見も伺いたいところである。

グローバル化ときめ細かなローカルサービスの両立は、これからのビジネスには常に付きまとして来る課題である。

(H.T.)

## アンリツテクニカル編集委員会

編集委員長/大石迪夫

編集副委員長/永井治男

編集事務局/和田治千

笹尾紘一

編集委員/横原 茂

石積清博

庄司耕治

野村 稔

鷲見孝則

本多勝久

高橋福幸

佐藤由紀夫

小林貞夫

栗本猛男

戸田博道

小島利治

増山恒美

森 秀夫

篠原八郎

## アンリツテクニカル

76

1998年10月30日 発行(年2回発行 非売品)

発行人 大石迪夫

発行所 アンリツ株式会社

〒106-8570 東京都港区南麻布五丁目10番27号

TEL (03) 3446-1111

1998年10月29日 印刷

印刷所 株式会社 文祥堂

〒108-0073 東京都港区三田五丁目3番7号

© アンリツ株式会社 1998 無断転載を禁じます。

問合せ先 アンリツテクニカル編集事務局

〒243-8555 神奈川県厚木市恩名1800番地

アンリツ株式会社 技術本部開発企画室

TEL (0462) 96-6522